

取扱説明書

改訂版④

自走式バキュームブロアー

HG580-159S-00

燃料 無鉛レギュラーガソリン



エンジンオイルは
入っていません。

初めてお使いになる方、他社製品を使用し慣れている方

ご使用前に、必ず取扱説明書をお読みにになり、
内容を理解してからお使いください。



WEB でチェック！

最新の取説及び
本製品の操作の仕方などを
ご覧いただけます。



目次

はじめに	3	運転前の点検	21
安全上のご注意	3	エンジンオイルの給油	21
製品を長くご愛顧いただくために	3	燃料の給油	22
安全にお使いいただくために	4	走行レバーとローラー駆動レバー	22
自走式バキュームブロアーに係る安全事項	4	各部の緩みやガタツキの点検	22
自走式バキュームブロアーの作業に係る安全事項	5	アクセルレバー	22
安全ラベル	6	ホースの点検	22
各部の名称	7	運転操作の仕方	23
主要諸元	8	エンジンのかけ方	23
梱包部品一覧	9	エンジンの止め方	24
組立て	10	方向転換方法	24
ハンドルの取付け	10	エンジンが止まらない場合	24
ダストバッグの取付け	11	作業の仕方	25
ワイヤクリップの取付け	12	吸い込み禁止（一例）	25
ガイドローラーの取付け	13	バキューム機能を使う（ホースなし）	25
ホースの取付け	13	ホースによるバキューム機能を使う	26
吸引下プレートの取付け	14	吸い込んで吐き出す	27
ブロアー使用時の取付け	15	ブロアー機能を使う	27
組立て		オプション品を装着して使う	28
ローラーブラシの取付け	16	点検・整備の仕方	29
サッチング刃の取付け	17	燃料の抜き方	29
各部の取扱い	19	エンジンオイルの給油・点検	30
走行レバーとローラー駆動レバー	19	エアクリーナーの清掃	30
アクセルレバー	19	点火プラグの点検・整備	31
オイル給油口	19	グリス・潤滑油の塗布	32
ドレンボルト	19	各部の異音の点検	32
リコイルスターター	19	走行・ローラー駆動ワイヤの張り調整	32
ガイドローラー	20	アクセルワイヤの張り調整	33
ダストバッグ	20	長期間使用しないとき	34
高さ調整レバー	20	困ったときの対処法	35
		困ったときの対処法（点火プラグの点検）	36
		消耗品・部品・オプション品一覧	37
		保証内容について	39

はじめに

このたびは自走式バキュームブロアーをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

誤った使い方をされますと重大な事故につながる恐れがあります。
この取扱説明書を熟読しご理解してからご使用ください。
また、各ページの警告・注意事項も飛ばさず、必ずお読みください。

安全上のご注意

※お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

※誤った取扱をした場合に生じる危険とその程度を次の区分で説明しています。

- 表示と意味をよく理解してから、本文をお読みください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることが出来る所に、必ず保管してください。
- すべて安全に関する内容です、必ずお守りください。



警告

誤った取扱をした時に、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。



注意

誤った取扱をした時に、軽傷または家屋・財産などの損害に結びつくもの。また故障に結びつくもの。



禁止

取扱においてその行為を禁止します。



指示

指示に基づく行為を強制します。

製品を長くご愛顧いただくために

取扱説明書に従った正しい取扱や定期点検、保守を行ってください。

注意事項に従わず何らかの損害・故障が発生した場合、保証の対象外となりますのでご注意ください。

安全にお使いいただくために

自走式バキュームブローアーに係る安全事項



警告



禁止

- 燃料の臭いがする場合、運転しないでください。爆発の危険があります。
- エンジンの排気ガスには人体に有毒な成分が含まれています。特に一酸化炭素は無色無臭で非常に強い毒性があり、吸入すると死亡の恐れがあります。
- エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- 燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- 運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。
- 換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- 可動している部分の近くに手または足を入れしないでください。
- エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意してください。
- 改造、分解は絶対に行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。当社の保証サービスは一切受けられなくなります。
- 正しい操作を知らない人、子供、妊娠中の方には操作をさせないでください。
- 未成年者の単独使用は禁止です。監督下で作業してください。
- 成年者でも、操作の仕方がよく分からない場合は、独自の使用をしないでください。
- 運転中に回転部及び可動部（出力軸・フライホイール・ファンベルト・プーリー等）に手や足及び衣類を絶対に近づけないでください。触れると巻き込まれ重大な事故の恐れがあります。
- 運転中は絶対投入口、排出口をのぞき込んだり、排出口の下に入らないでください。
- 周囲の動植物等にも排気ガスが当たらないように注意をしてください。



指示

- 本機を密閉された場所に燃料を入れたまま放置しないでください。燃料が蒸発し、爆発の危険があります。
- 自動車で運搬するときは、燃料タンクの燃料を抜き、燃料コックを閉じてください。振動等により燃料が漏れることがあります。
- 給油時は、付近にタバコ等の火気の無いことを確認してください。燃料は非常に引火しやすく、気化した燃料は爆発の危険があります。
- 給油中にこぼれた燃料はきれいに拭きとってください。燃料を拭いた布等は、火災に注意して処分してください。
- 燃料を衣服にこぼした場合、直ちに衣服を着替えてください。衣服へ引火する危険があります。
- 給油は、身体に帯電した静電気を除去してから行ってください。引火の恐れがあります。
- 給油時、燃料タンクの給油限界位置を超えないようにしてください。温度上昇によって燃料が膨張し、漏れることがあります。
- 燃料タンクキャップは確実に閉めてください。運転中にこぼれると火災の恐れがあります。
- 運転前に燃料漏れがないか点検・確認してください。
- 点火源となるような機器の近くに保管しないでください。燃料蒸気へ引火する恐れがあります。
- 運転中に高圧コードや点火プラグキャップに触れないでください。感電する恐れがあります。
- 使用中に異常音、異常振動があったときは、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。
- ご使用前にこの説明書をお読みになり取扱の注意事項をよくご理解の上で使用ください。
- エンジンの周りに、木くずなど燃えやすいごみを蓄積させないでください。
- 点検整備を行なう場合はエンジンを停止してください。思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 点検整備を行なう場合は、エンジンスイッチをオフにしてください。エンジンが不意に始動すると、思わぬ事故につながる恐れがあります。
- ガソリンエンジンの点検整備を行なう場合は、点火プラグキャップを外してください。エンジンが不意に始動すると、思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 点検整備はエンジンが冷えてから行ってください。エンジン本体やマフラー部のほか点火プラグの温度も高くなっており、やけどの恐れがあります。
- エンジンを始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。
- 始動前点検を実施してください。
- 急傾斜地では使用しないでください。

安全にお使いいただくために

自走式バキュームブロアーに係る安全事項



注意

 禁止	指定された用途以外には使用しないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none">• 燃料は無鉛レギュラーガソリンを使ってください。• 長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。• 給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。• 部品交換は、純正部品を使用してください。• 本機をご使用になる前に、エンジンの始動、停止の仕方を覚えてください。• 定期点検整備を行ってください。• 子供の手の届かない安全な場所に保管してください。

自走式バキュームブロアーの作業に係る安全事項



警告

 禁止	<ul style="list-style-type: none">• 身体の調子が悪い時、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。• 動作中に回転部分に顔や手足を近づけないでください。• ご使用時は、使用者から 12m 内は危険です、人や動物が入らないようにしてください。• 夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界不良時は使用しないでください。• 足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。• 作業中に異物に当たったり、異物を吸い込んだ場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、異常がないか調べてください。異常があった場合には、完全に補修した後でなければ本機を再始動しないでください。• 燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none">• 適切な時期に休憩をとってください。• 本機から離れるときは、必ずエンジンを停止してください。• 危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。• 持ち運ぶときは、エンジンを停止し、燃料タンクから燃料を抜取ってください。



注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none">• 機械の稼働部分に絡まるような衣服、装飾品、タオルなどは着用しないでください。• エンジンがかかっている状態で本機から離れないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none">• 長袖、長ズボンを着用し、すべりにくい靴、手袋、防塵マスクなどの作業に適した服装を心掛けてください。• 長い髪は束ねて帽子、ヘルメットでカバーしてください。• シートカバーなどは機械が十分冷めてからかけてください。• 定期点検整備を行ってください。• 本機を長時間保管する時は、取扱説明書にしたがって保管してください。

安全ラベル ※安全ラベル添付位置は、実際と異なる場合があります。

カバーを硬いところに当てないでください。破損します。



取扱説明書をお読みください。	傍観者を遠ざけてください。	操作中は回転部分に触れないでください。	有毒ガス：屋内では操作しないでください。	保護手袋を着用。手足に注意を払ってください。
点検修理の際は、点火プラグを外し、取扱説明書に従ってください。	注意：エンジンは高温です。	作業者を保護するために、保護眼鏡や耳栓を着用してください。		

警告

- ・ガソリンは引火性と爆発性が高い危険物です。
- ・給油の前には、エンジンを切って冷やしてください。
- ・エンジンは有毒な一酸化炭素を排出します。
- ・密閉された場所では使用しないでください。
- ・取扱説明書は必ずお読みください。

警告

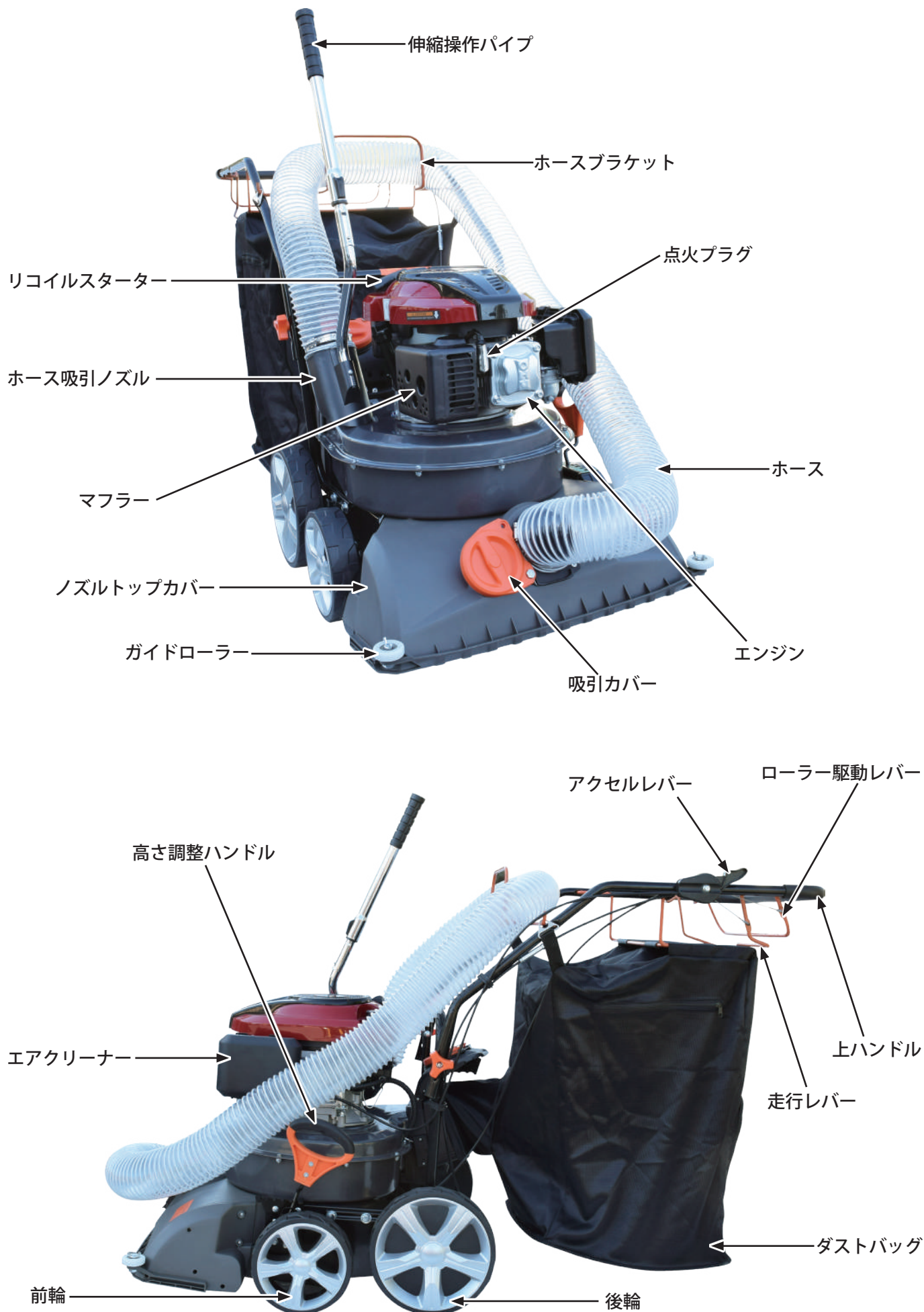
- ・燃料の臭いがある場合、運転しないでください。爆発の危険があります。
- ・燃料の漏れが見受けられたら、使用しないでください。
- ・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- ・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。
- ・給油は、身体に帯電した静電気を除去してから行ってください。引火の恐れがあります。
- ・給油時、燃料タンクの給油限界位置を超えないようにしてください。温度上昇によって燃料が膨張し、漏れることがあります。

注意

- ・燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。
- ・持ち運ぶ時は、エンジンを停止し、燃料タンクから燃料を抜取ってください。
- ・燃料タンク内に雪や水が入らないようご注意ください。
- ・30日以上長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜取り、火気のないところに保管してください。

各部の名称

※本取扱説明書に掲載されている写真はプロトタイプのため、本製品と仕様が異なる場合があります。



主要諸元

モデル名	HG580-159S-00
タイプ	バキューム&ブロアー
エンジン形式	4ストローク OHV エンジン
総排気量	159cm ³
始動方式	リコイルスターター
燃料	無鉛レギュラーガソリン
燃料タンク容量	1L
エンジンオイル	SAE10W-30
エンジンオイル容量	0.55L
エンジンスピード	3,400r/min
自走スピード	3.4km/h
ダストバッグ容量	135L
吸引口高さ調整	15-50mm
吸引速度	26m/s
排出速度	43m/s
吸込仕事率	2880W
騒音レベル	105dB(A)
互換点火プラグ	BPR7HS(NGK)
重量	46kg
本体サイズ(幅×奥行き×高さ)	602 × 1305 × 1080mm

◎ハイガーは、顧客満足度 100%を目指し、日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。
そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。
また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。


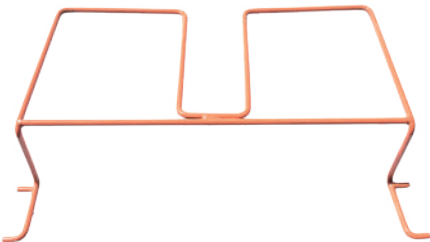


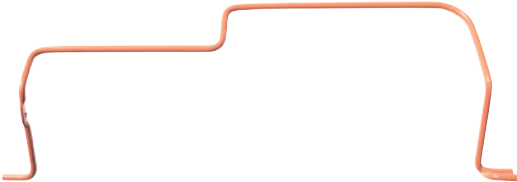





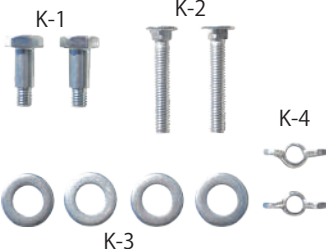






梱包部品一覧

※本取扱説明書に掲載されている写真はプロトタイプのため、本製品と仕様が異なる場合があります。

1. ユニットとすべてのアクセサリを慎重に箱から取出し、全てのユニット・アクセサリに不足・問題がないことを確認してください。
2. 製品を注意深く点検し、輸送中の損傷がないことを確認してください。万が一損傷が見受けられた場合は、運送会社に1週間以内に連絡をしてください。
3. 梱包材を慎重に検査し、使用する前に廃棄しないでください。
不足している場合は、お手数ですがハイガーまでご連絡ください。

警告

不足しているものがある場合は、不足している部品を入手するまで使用しないでください。

A. 本体 		D. ダストバッグブラケット 		
B. 吸引下プレート 	M. ダストバッグ 	E. 走行レバー 		
C. 伸縮操作パイプ 		F. ホースブラケット 		
G. ホース 	H. ノブナット 	J. ワイヤクリップ 	K. ネジ類 	L. プラグレンチ 
I. ガイドローラー 		K-1 		K-2 
K-3 		K-4 		

■オプション品（別売）※同梱はされていません。

N. ローラーブラシ 	O. サッチング刃 
--	--

組立て

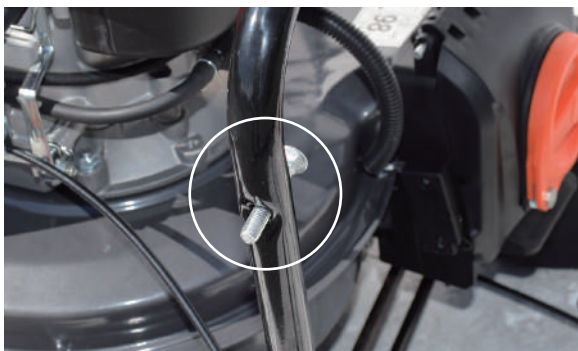
⚠ 注意

- 説明書をよく読んで正しく取付けてください。
- 作業には工具を使用します。必ず用途やサイズの合ったものを使用し、自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行ってください。

ハンドルの取付け

本体にハンドルを取付けます。

- 1** 下ハンドルの取付穴にボルト (K-2) を内側から挿入します。



- 2** 上ハンドルをかぶせ、外側からノブナットで固定します。この段階では仮留め程度にします。上ハンドルには、ハンドルの高さを変えるための上下2カ所の穴があります。



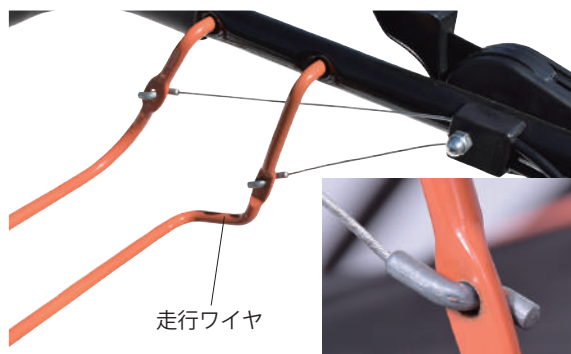
- 3** 上ハンドルが取付いた状態です。



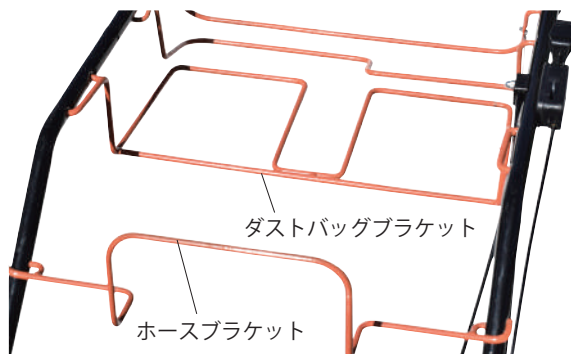
- 4** 上ハンドルの穴に走行レバーを取付けます。



- 5** 走行レバーを取付け、走行ワイヤを取付けます。



- 6** ダストバッグブラケットとホースブラケットを取付けます。



組立て

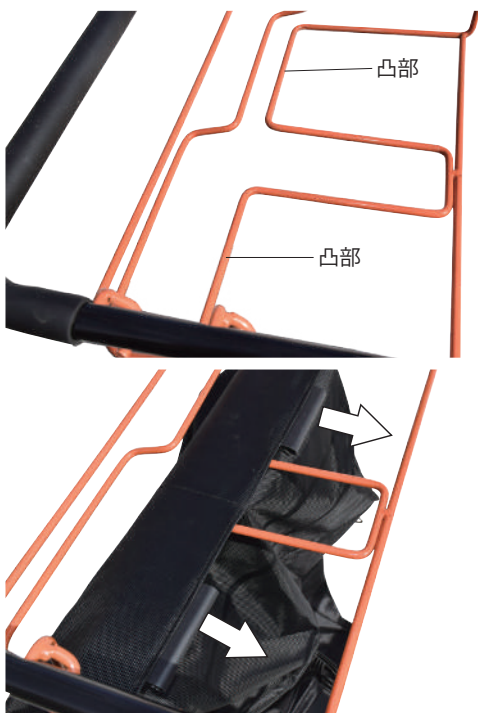
7 左右のノブナットを均等に締付けます。



ダストバッグの取付け

バキュームとして使用する場合はダストバッグを取付けます。

1 ダストバッグブラケット凸部にダストバッグの上部ポケットを挿込みます。



2 ダストバッグ上部のフックをブラケットに固定します。

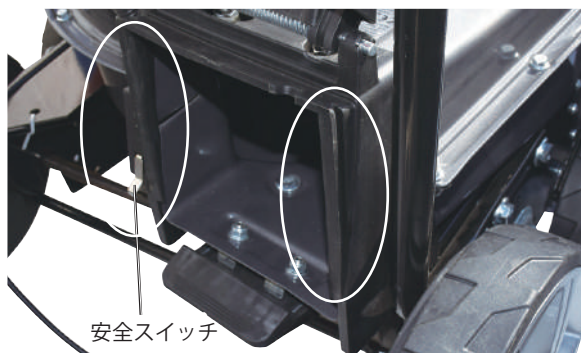


3 リヤカバーの下側のレバーを押し、ロックを解除しカバーを開けます。

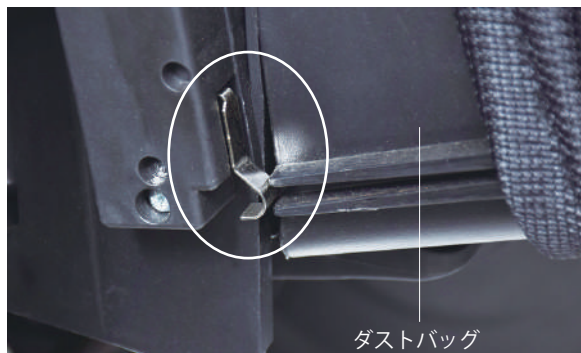


組立て

- 4** 本体側の縦溝に、ダストバッグの凸部を上からスライドしてはめ込みます。



- 5** ダストバッグの吸込口が、本体左側の安全スイッチを確実に押していることを確認します。押されていないとエンジンはかかりません。



⚠ 注意

安全スイッチが押されていることを必ずご確認ください。押されていないとエンジンはかかりません。

- 6** ダストバッグのフックをホースブラケットの突起部分に引っ掛けます。



ワイヤクリップの取付け

- 1** ワイヤクリップにコードを挟み込み、ハンドルに取付けます。振動で頻繁に外れるようであれば、結束バンド(インシュロック)等で固定をしてください。



組立て

ガイドローラーの取付け

作業中に壁際や縁石などに本体が当たって破損すること防ぎます。ノズルトップカバーの両サイドにガイドローラーを取付けます。

- 1 ボルト(K-1)を下から通し、ワッシャ(K-3)を2枚ボルトに通します。



- 2 ガイドローラーを通し、最後に蝶ナット(K-4)で固定します。

※紛失を防止するため、広い敷地等で使用する場合は取外しおくことをおすすめします。



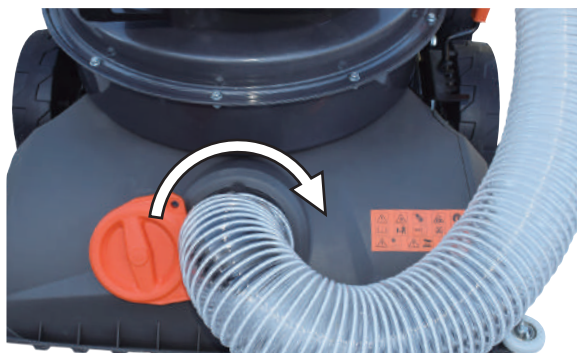
ホースの取付け

バキュームとして使用する場合は、フロントにホースを取付けます。

- 1 吸引カバーをスライドさせ開けます。



- 2 ホースの突起部と吸引穴の凹部分を合わせ、時計回りで固定します。

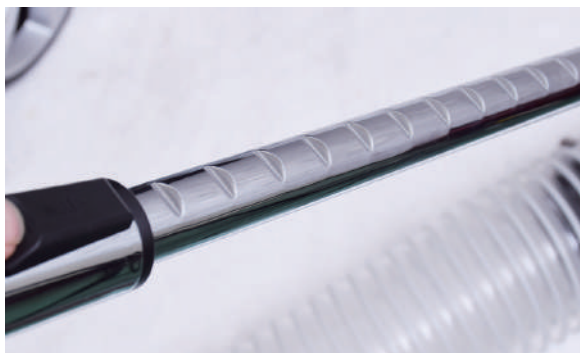


組立て

- 3** ホース吸引ノズルから出ているパイプの突起と、伸縮操作パイプの穴の位置を合わせはめ込みます。



- 4** 伸縮操作パイプのボタンをスライドさせ、パイプを引っ張るとパイプが伸びます。



吸引下プレートの取付け

ホースによるバキュームとして使用する場合は、ノズルトップカバー下に吸引下プレートを取付けます。

- 1** 吸引下プレートをノズルトップカバーのサイドの溝にはめます。



- 2** 吸引下プレートをスライドさせ奥までしっかりはめます。



組立て

底から見たところ



ブロアー使用時の取付け

ブロアーとして使用する場合は、リヤカバーにホースを取付けます。

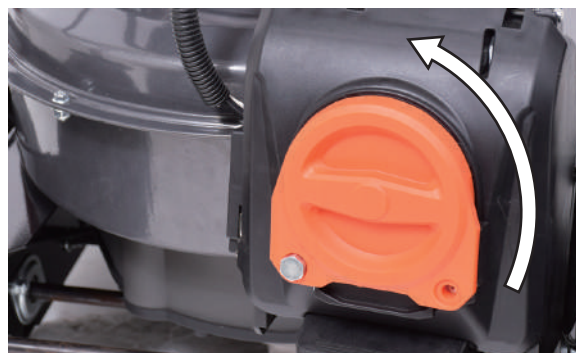
1 吸引下プレートを外し、ホースブラケットに収納します。



2 吸引下プレートの折り返し部分をホースブラケット引っ掛けます。



3 ダストバッグの吸込口を外し、リヤカバーをスライドさせ開けます。



4 ホースの突起部と吸引穴の凹部分を合わせ、時計回りで固定します。



組立て オプション品

ローラーブラシの取付け

ノズルトップカバー下の吸引口に取付けます。

- 1** 吸引下プレートを取外します。

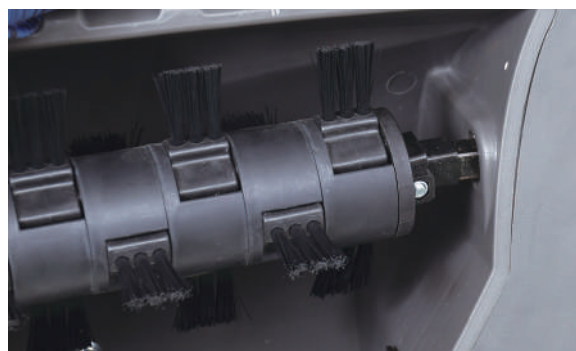
吸引下プレート



- 2** 左側のロックレバーを押し上げ、ホルダーを取外します。無理な力は加えないでください。破損の原因になります。



- 3** 右側の四角いシャフトにローラーブラシの四角い穴を合わせ挿込みます。

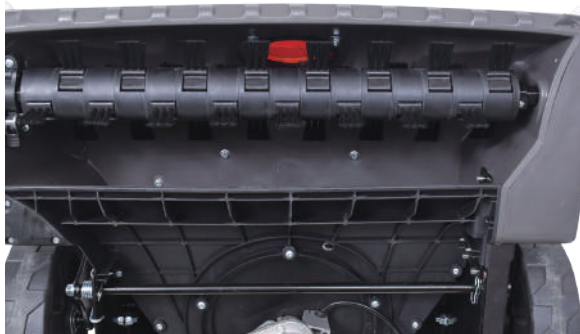


- 4** 左側にローラーブラシをセットします。奥までしっかり入れます。



組立て オプション品

- 5** ロックレバーを押し上げながらホルダーを戻します。

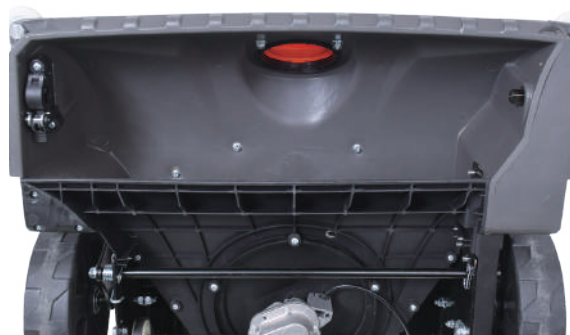


サッチング刃の取付け

ノズルトップカバー下の吸引口に取付けます。

- 1** 吸引下プレートを取外します。

吸引下プレート

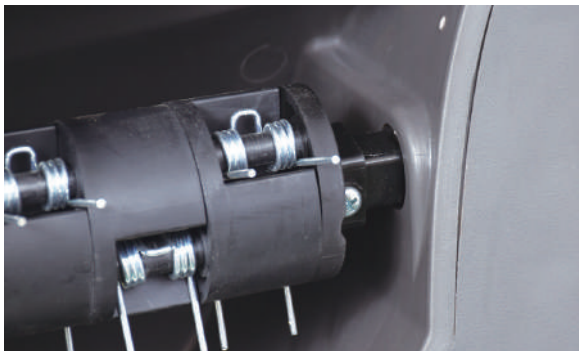
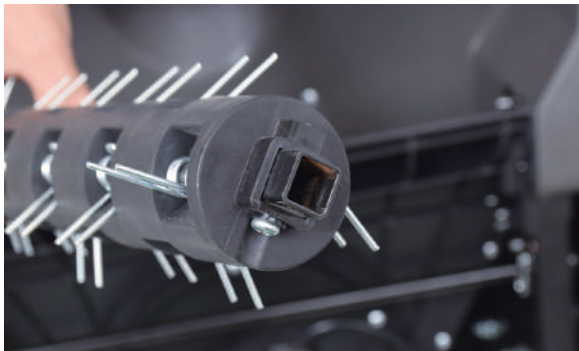


- 2** 左側のロックレバーを押し上げ、ホルダーを取外します。無理な力は加えないでください。破損の原因になります。

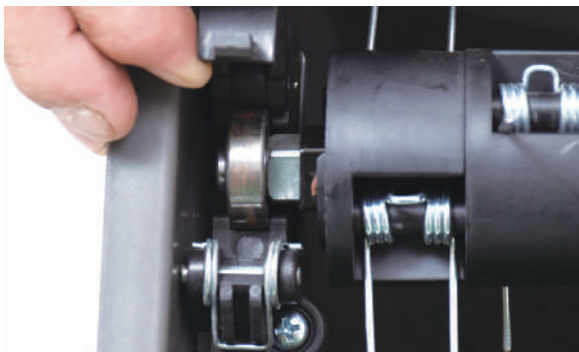


組立て オプション品

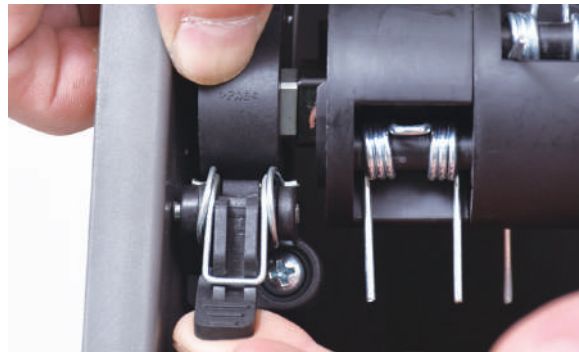
- 3** 右側の四角いシャフトにサッチング刃の四角い穴を合わせ挿込みます。



- 4** 左側にサッチング刃をセットします。奥までしっかり入れます。



- 5** ロックレバーを押し上げながらホルダーを戻します。



各部の取扱い

走行レバーとローラー駆動レバー

レバーを握ると走行とローラーが回転します。



アクセルレバー

運転中に操作するとエンジンの回転数が変わります。
※回転数はレバーを止めた位置で自動調整されるガバナー式となっています。



レバーを「FAST」側

エンジンの回転数が上がり、吸い込みが強くなります。

レバーを「SLOW」側

エンジンの回転数が下がり、吸い込みが弱くなります。

レバーを「STOP」側

エンジンが止まります。

オイル給油口

オイルを給油する際、キャップを開けてオイルを給油します。



ドレンボルト

オイルを排出する際に、ドレンボルトを外してオイルを抜きます。



リコイルスターター

リコイルスターターを引くことでエンジンが始動します。



各部の取扱い

ガイドローラー

壁際や縁石があるところで使用する場合は、ガイドローラーを取付けることで本体の損傷を回避することができます。



⚠ 注意

紛失を防止するため、広い敷地等で使用する場合は取外しておくことをおすすめします。

ダストバッグ

吸い込んだ枯れ葉やゴミなどがダストバッグに貯まります。ジッパーを開けると内容物を捨てることができます。



高さ調整レバー

吸引口の高さを1～5段まで調整することができます。



運転前の点検

警告



禁止

- ・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- ・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。



指示

- ・燃料を補給するときは必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。
- ・燃料をこぼさないように注意してください。所定のレベルを超えて補給しないでください。
- ・燃料がこぼれた場合は、直ちに拭取ってください。
- ・燃料は、無鉛レギュラーガソリンを使用してください。

注意



指示

- ・燃料給油キャップは確実に閉めてください。
- ・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。
- ・給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。

エンジンオイルの給油

工場出荷時、エンジンオイルは入っていません。

下記要領で給油してください。

1 エンジンオイルを準備します。

推奨オイル	4ストロークガソリンエンジン専用 100%化学合成油 SAE10W-30
オイル容量	0.55L

2 本体を水平な場所に移動させます。

3 オイル給油キャップを外し、オイルゲージを布などで拭取ります。



4 エンジンオイルを給油します。

注意

- ・エンジンテストを行っているため、多少オイルが残っている場合があります。オイルゲージを確認しながら少しずつ給油してください。
- ・エンジンオイルを入れ過ぎると、エンジンはかかりにくくなります。

5 オイル給油キャップを一旦締付け、再度取り外します。

6 オイルが、オイルゲージのオイル量範囲(中央)まであるか点検します。



適正量はゲージの中央です。

7 確認後、オイル給油キャップを確実に閉めてください。

8 使用2回目以降、運転前に必ずエンジンオイル量や汚れを点検してください。

運転前の点検

燃料の給油

工場出荷時、燃料は入っていません。

下記要領で給油してください。

- 1** 燃料を準備します。

使用燃料	自動車用無鉛ガソリン (レギュラーガソリン)
タンク容量	1L

- 2** 燃料給油キャップを開け、液面を見ながら少しずつこぼさないように給油します。
※上部ギリギリまで給油しないでください。



- 3** 給油が終わったら燃料給油キャップをしっかり閉めます。

走行レバーとローラー駆動レバー

走行レバーやローラー駆動レバーを握ったり放したりし、ワイヤの緩みや破損がないか確認します。

緩みがある場合は、調整をします。(P.32 参照)



各部の緩みやガタツキの点検

各部の緩みやガタツキがないか点検します。
ボルト、ナット等の緩みであれば、締付けます。
不具合の箇所が分からない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

アクセルレバー

アクセルレバーを「STOP」側にした際に、エンジン停止スイッチを押していることを確認します。
スイッチを押していない場合は、ワイヤの調整が必要です。(P.33 参照)



ホースの点検

ホースに亀裂や穴が空いていないか点検します。
また、接続が確実であるかも確認します。



運転操作の仕方

警告

- 燃料の臭いがある場合、運転しないでください。爆発の危険があります。
- エンジンの排気ガスには人体に有毒な成分が含まれています。特に一酸化炭素は無色無臭で非常に強い毒性があり、吸入すると死亡の恐れがあります。
- 燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- 運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。
- 換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意してください。
- 運転中に回転部及び可動部に手や足及び衣類を絶対に近づけないでください。触れると巻込まれ重大な事故の恐れがあります。
- 周囲の動植物等にも排気ガスが当たらないように注意をしてください。
- エンジン始動後、異常を感じたり、予測される場合はすぐにエンジンを停止してください。
- 本機から離れるときは必ずエンジンを停止してください。
- 少しの移動でもエンジンを停止してください。

注意

エンジンを始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。

エンジンのかけ方

- 1 アクセルレバーを「FAST」と「SLOW」の間に合わせます。



- 2 リコイルスターターを少し重くなるまでゆっくり引き、そこから真っすぐ引張ります。



注意

- リコイルスターターロープを最後まで引出さないでください。
- 一度に6回以上は引張らないでください。
- 引いたリコイルスターターは途中で放さずに、ゆっくり戻してください。
- 運転中はリコイルスターターハンドルに手を触れないでください。

運転操作の仕方

エンジンの止め方

- 1 走行レバー、ローラー駆動レバーから手を放します。
- 2 アクセルレバーを「STOP」に合わせます。



⚠ 注意

- 本機は、水平な場所に駐車してください。
- 作業終了後、本機に破損がないが確認し、破損が確認された場合は完全に修理してください。

方向転換方法

- 1 方向転換をする際は走行レバーから手を放し、手押しで回転を行います。



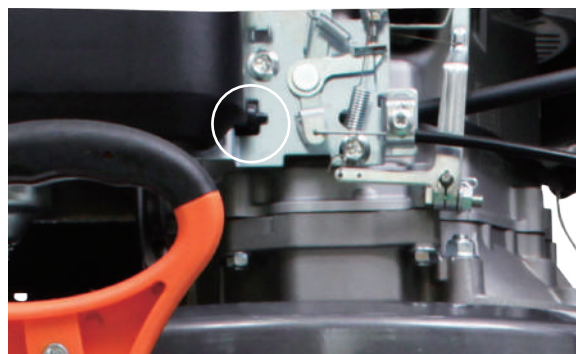
エンジンが止まらない場合

アクセルレバーを「STOP」側にしてもエンジンが止まらない場合は、下記要領でエンジンを停止してください。

- 1 アクセルレバーを「STOP」側にします。



- 2 エンジンが停止するまで黒いボタンを押し続けます。



- 3 ワイヤの調整が必要になります。(P.33 参照)

作業の仕方

警告

- 身体の調子が悪い時、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。
- 動作中に回転部分に顔や手足を近づけないでください。
- ご使用時は、使用者から 12m 内は危険です、人や動物が入らないようにしてください。
- 夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くない時は使用しないでください。
- 足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。
- 作業中に異物に当たったり、異物を吸い込んだ場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、異常がないか調べてください。異常があった場合には、完全に補修した後でなければ本機を再始動しないでください。
- 燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。
- 適切な時期に休憩をとってください。
- 本機から離れる時は、必ずエンジンを停止してください。
- 危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。
- 少しの移動でもエンジンを停止し、ハンドルを持って運搬してください。
- 長袖、長ズボンを着用し、すべりにくい靴、手袋、保護メガネ、ヘルメット、防塵マスクなどの作業に適した服装を心掛けてください。
- 髪の毛、衣服等を回転部分に近づけないでください。長い髪は束ねて帽子、ヘルメットでカバーしてください。

吸い込み禁止(一例)

下記のようなものは、吸い込まないでください。故障の原因になります。



泥や水など



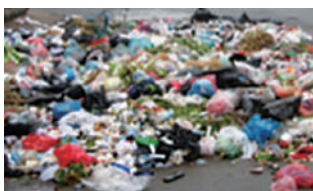
紐やリボン等絡まりやすいもの



コード類・針金類や鋭利なもの



ビニール袋など



家庭用のゴミや産業廃棄物など



石やブロック・レンガなど

バキューム機能を使う(ホースなし)

- 1** 作業場所にある石や空き缶、木片、針金、ビニール袋等障害物を取除きます。
- 2** ノズルトップカバー下に吸引下プレートがある場合は、取外します。

- 3** 高さ調整レバーで吸引口の高さを調整します。(P.20 参照)

- 4** エンジンを始動します。(P.23 参照)

注意

- エンジンをかけると同時にファンが回り吸い込みが開始されます。
- 走行レバーを握ると同時に本機が走行し始めます。身体を持っていかれないようご注意ください。
- 走行スピードが速いと感じた場合は、無理にその動きを止めずに、速やかにレバーを放し手押しで移動を行ってください。故障の原因になります。

- 5** ローラー駆動レバーと走行レバーを握り、作業場所に移動します。

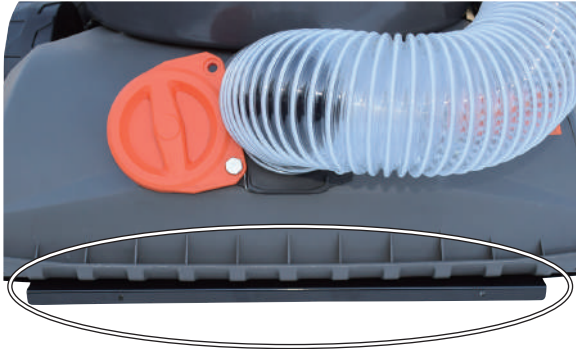


- 6** 吸い込み状況をみながら、アクセレバーを操作しエンジンの回転を調整します。

作業の仕方

ホースによるバキューム機能を使う

- 1 フロントにホースを取付けます。(P.13 参照)
- 2 ノズルトップカバー下に吸引下プレートを取付けます。(P.14 参照)



- 3 エンジンを始動します。(P.23 参照)

⚠ 注意

- ・エンジンをかけると同時にファンが回り吸い込みが開始されます。
- ・走行レバーを握ると同時に本機が走行し始めます。身体を持っていかれないようご注意ください。
- ・走行スピードが速いと感じた場合は、無理にその動きを止めずに、速やかにレバーを放し手押しで移動を行ってください。故障の原因になります。

- 4 ローラー駆動レバーと走行レバーを握り、作業場所の近くまで自走で移動するかローラー駆動レバーと走行レバーを放して手押しで移動します。

自走



手押し



- 5 ホース先端を地面から5～10cm程度離し、吸引口では吸い込めない角や入り組んだ場所の枯れ葉や塵を吸い込みます。



- 6 吸い込み状況を見ながら、アクセレバーを操作しエンジンの回転を調整します。
※回転数はレバーを止めた位置で自動調整されるガバナー式となっています。



作業の仕方

吸い込んで吐き出す

ホースを追加することで、吸い込んだ物を別のところに吐き出すことができます。



ブロアー機能を使う

- 1 作業場所にある石や空き缶、木片、針金、ビニール袋等障害物を取除きます。

警告

- ・作業場所の周りに人や動物がいないことを必ず確認してください。事故の原因になります。
- ・作業場所の周りに車、バイク、自転車等がないことを必ず確認してください。小石などが飛び、損傷を与えることがあります。

- 2 ノズルトップカバー下に吸引下プレートがある場合は、取外します。

- 3 リヤにホースを取付けます。(P.15 参照)

- 4 エンジンを始動します。(P.23 参照)

注意

- ・エンジンをかけると同時にファンが回り吸い込みが開始されます。
- ・走行レバーを握ると同時に本機が走行し始めます。身体を持っていかれないようご注意ください。
- ・走行スピードが速いと感じた場合は、無理にその動きを止めずに、速やかにレバーを放し手押しで移動を行ってください。故障の原因になります。

- 5 ローラー駆動レバーと走行レバーを握り、作業場所の近くまで移動します。または、ローラー駆動レバーと走行レバーを放して手押しで移動します。



- 6 ホース先端を地面から5～10cm程度離し、枯れ葉などを吹き飛ばします。



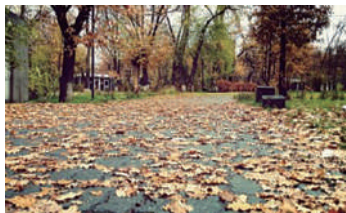
作業の仕方 オプション品

オプション品を装着して使う

■ ローラーブラシ



道路上の湿った落ち葉やこびり付いた落ち葉の除去に、威力を発揮します。



■ サッチング刃



芝生に堆積した古い根や枯れ草等のサッチを除去しながら吸い込めるアタッチメントです。バキュームで吸い込みながらサッチングをするため効率的で簡単に作業ができます。



1 ノズルトップカバー下の吸引口にローラーブラシまたはサッチング刃を取付けます。(P.16 参照)

2 高さ調整レバーで吸引口の高さを調整します。(P.20 参照)

3 エンジンを始動します。(P.23 参照)

⚠ 注意

- ・エンジンをかけると同時にファンが回り吸い込みが開始されます。
- ・走行レバーを握ると同時に本機が走行し始めます。身体を持っていかれないようご注意ください。

4 ローラー駆動レバーを握るとローラーが回転します。



5 移動する場合は、走行レバーも握ります。



⚠ 注意

走行スピードが速いと感じた場合は、無理にその動きを止めずに、速やかにレバーを放し手押しで移動を行ってください。故障の原因になります。

6 吸い込み状況を見ながらアクセルレバーを操作し、エンジンの回転を調整します。
※回転数はレバーを止めた位置で自動調整されるガバナース式となっています。



点検・整備の仕方

警告

- ・作業場の清潔、安全を常に確保してください。足を引っかける一切の障害物を撤去してください。
- ・作業場には必ず清潔、安全を守ってください。ガラスや木材、燃料など燃えやすい物は必ず離して保管してください。
- ・点検整備をするときは、必ずエンジンを停止してから行ってください。
- ・作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめてください。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願いします。
- ・本体は水平な場所に設置し、作業を行ってください。
- ・作業は、十分な採光のもとで作業してください。
- ・排気ガスには十分に注意し、換気の良い場所で行ってください。
- ・火気を近づけないでください。
- ・作業には工具を使用することがあります。必ず用途やサイズの合ったものを使用し自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行ってください。
- ・点検整備後は、すべての部品を確実に取付けたことを確認してください。
- ・メンテナンス終了後は汚れが付着しない場所かカバーなどをかぶせて保管ください。

対象部品	点検項目	運転前の点検	初回の1ヶ月後または 20時間運転後	3ヶ月毎または 50時間運転毎	6ヶ月毎または 100時間運転毎	1年毎または 300時間運転毎	掲載ページ
燃料	ガソリン量、漏れ	●					P.22
エンジンオイル	オイル量	●					P.21
	交換		●	●			P.30
エアクリーナー	清掃			●			P.30
	交換					●	P.30
点火プラグ	清掃				●		P.31
	交換					●	P.31

警告

- ・緩めたボルトは、必ずしっかり締めてください。ガソリンが漏れると引火の危険があります。
- ・こぼれたガソリンは布などで、直ちに拭取ってください。

燃料の抜き方

- 1 廃油受けを準備します。
- 2 燃料タンクのキャップを外し、タンク内の燃料を手動のポンプ等で抜きます。



- 3 ○部分のボルトをスパナやレンチ等で緩めて、燃料を廃油受けに受けます。



- 4 燃料を抜き終わったら、緩めたボルトは、必ずしっかり締めてください。

点検・整備の仕方

エンジンオイルの給油・点検

【エンジンオイルの交換】

エンジンオイルは、初回 20 時間、以降 50 時間毎に行ってください。

■エンジンオイル交換の手順

- 1 廃油受けを準備します。
- 2 本機を水平な場所で水平な状態にします。
- 3 油受けをドレンボルトの下に置き、ドレンボルト下に厚紙等を敷き、ドレンボルトを 10mm のスパナで反時計回りに回し緩めると、オイルが出てきます。その際、オイル給油キャップを取外すと抜けやすくなります。



- 4 排出が終わりましたら、ドレンボルトを確実に締めます。
- 5 市販のオイルジョッキをご用意します。



- 6 新しいエンジンオイルをレベルゲージの中央まで入れます。



- 7 給油後は、確実にオイル給油キャップを閉めます。

推奨オイル	4 ストロークガソリンエンジン専用 100%化学合成油 SAE10W-30
オイル容量	0.55L

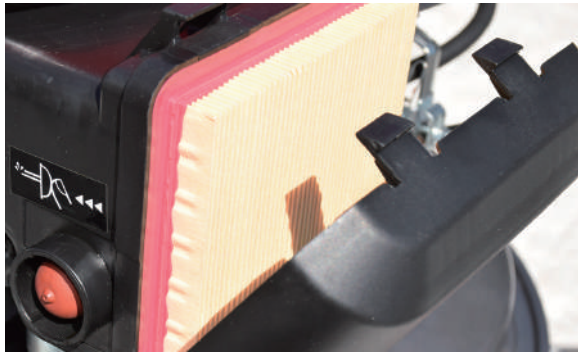
エアクリーナーの清掃

エアフィルタの汚れを点検し、汚れている場合は清掃をします。

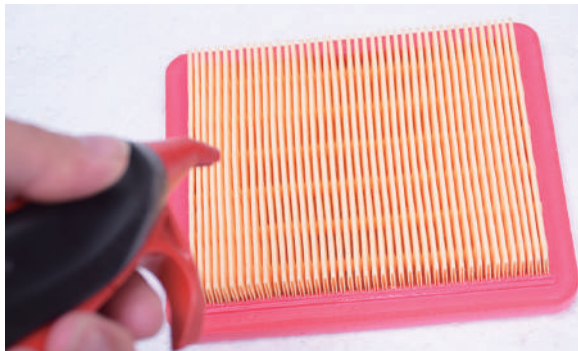
- 1 エアクリーナーカバーの上のツメを押しながら取外し、カバーを開き取外します。



点検・整備の仕方



- 2** エアフィルタの汚れをエアブロー等で吹き飛ばします。
汚れがひどい場合は、エアフィルタの交換が必要になります。



- 3** 取外しと反対の手順で取付けます。

点火プラグの点検・整備

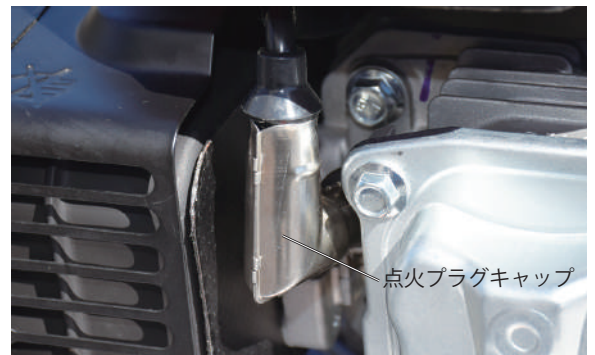
点火プラグを取外し、電極の点検・清掃を行います。
※エンジンが冷えている状態で行ってください。

交換時期	1年毎または300時間運転毎
適応点火プラグ	BPR7HS(NGK)

■使用工具：プラグレンチ（付属）、ワイヤブラシ

■点検・清掃の仕方

- 1** 金属の点火プラグキャップを持って引抜きます。
※コードを持って引抜かないでください。



- 2** 点火プラグをプラグレンチで取外します。（反時計回り）



- 3** 点火プラグをワイヤブラシで清掃します。



点検・整備の仕方

- 4** プラグキャップにプラグを確実にはめ、プラグ先端を金属部に当てながらリコイルスターターを引きます。この時プラグ先端から火花が出れば、正常です。

※手袋着用で行ってください。



- 5** 取外しと逆の手順で取付けます。

※点火プラグは、点火プラグキャップにしっかりと はめてください。はめ込みがあまりいと点火しません。

グリス・潤滑油の塗布

本機の使用後は回転部分・撻動部を清掃し、グリスを補給します。可動部分は、潤滑油を塗布します。
※グリスは市販のリチウムグリスをお使いください。

各部の異音の点検

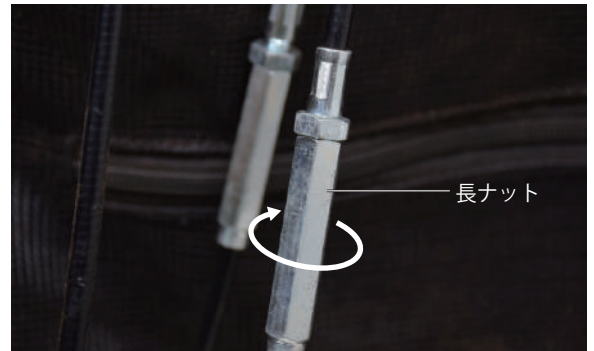
始動後、エンジン、その他の部位から異音がないか点検します。異常がある場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

走行・ローラー駆動ワイヤの張り調整

走行レバーを握っても走行しない場合やローラー駆動レバーを握ってもローラーが回転しない場合は、ワイヤの張りを調整します。

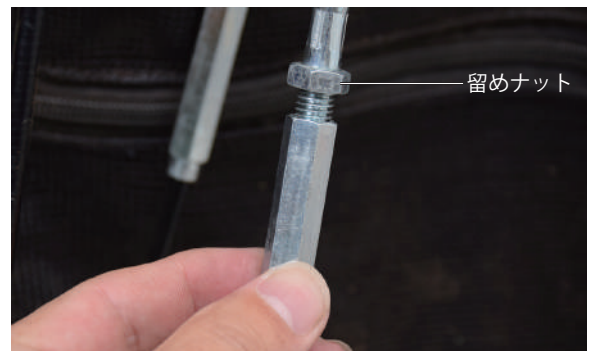
- 1** 下部の長ナットを回します。

※写真は最もゆるい状態です。



- 2** 上部の留めナットを回し下まで降ろし締付けます。

※ワイヤを張り過ぎると切れることがありますので、ご注意ください。



点検・整備の仕方

アクセルワイヤの張り調整

アクセルレバーを「STOP」側にしてもエンジンが止まらない場合は、ワイヤの張りを調整します。

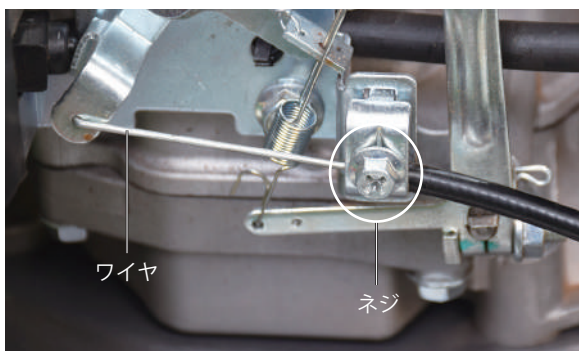
- 1 エンジンを切っている状態で、アクセルレバーを「STOP」側にします。



- 2 エンジン停止スイッチが押されない場合は、エンジンが止まりませんので調整が必要です。



- 3 ネジを緩め、ワイヤがスイッチを押すところまで引き出したらネジを締付けます。



- 4 アクセルレバーを数回動かして、「STOP」側した時にエンジン停止スイッチを押しているか確認します。

長期間使用しないとき

本機を長期に渡り使用しないときは、次のお手入れを行ってください。

- 1** 保管するときは、平坦で堅い地面に水平に置てください。
- 2** 燃料タンク、キャブレタの燃料を抜きます。(P.29参照)
- 3** エンジンをかけ、燃料切れで停止するまで回し、キャブレター内の燃料を使い切ります。
- 4** 各部の汚れを落とし、水分が残らないよう、きれいに清掃します。
- 5** 各部のボルト類の破損、腐食、緩みを点検します。
- 6** 防錆、潤滑油を塗布します。
- 7** 本体にカバーをかけ、湿気の少ない換気の良い場所に保管してください。

困ったときの対処法

●エンジンがかからない

症状	原因	対処
点火プラグに火花が出ていない ※火花の確認方法は、P.36 参照	始動スイッチボタンの不良	交換
	点火プラグ不良	交換 (P.31 参照)
	点火プラグ・キャップ接続不良	確実に接続
	イグニッションコイルの不良	交換
	エンジンオイルが少ない、入っていない	確認 (P.21 参照)
キャブレターに燃料が来ていない	燃料が入っていない	燃料を入れる (P.22 参照)
	燃料ホースの詰まり、漏れ	ホース清掃、交換
	燃料タンク錆びまたは、異物混入による詰まり	交換、フィルタ清掃
キャブレターに燃料は来ているが、エンジン内に燃料が来ていない	キャブレターの詰まり (ニードル・バルブ固着)	キャブレター分解掃除
エンジンがかからない	オイルの入れすぎ	オイル交換 (P.30 参照)
	オイルにガソリンが混ざっている	オイル交換 (P.30 参照)
	ダストバッグの吸込口が、本体左側の安全スイッチが押されていない	安全スイッチを確認 (P.12 ダストバッグの取付け手順 5 参照)

●エンジンはかかるが、すぐ停止したり、停止しそうになる

症状	原因	対処
エンジンはかかるが止まる、止まりそうになる	エアフィルタの汚れ	清掃または交換 (P.30 参照)
	キャブレター詰まり (ニードル・バルブ固着)	キャブレター分解掃除
白煙が出る	オイルの入れすぎ	オイルを抜く (P.30 参照)

●うまく吸引できない・飛ばせない

症状	原因	対処
吸引口から吸引できない	吸引下プレートが付いている	吸引下プレートを外す (P.15 参照)
	パワーが弱い	アクセルレバーを「FAST」側にする
	吸引口の高さが高すぎる	高さを調整する (P.20 参照)
ホースから吸引できない	ホースが外れている	接続し直す
	ホースに亀裂や穴が開いている	交換
ブローアの風圧が弱い	吸引下プレートが付いている	吸引下プレートを外す (P.15 参照)

●走行しない

症状	原因	対処
全く動かない	走行ワイヤの緩み	調整 (P.32 参照)

困ったときの対処法（点火プラグの点検）

点火プラグの点検 ※機種により、プラグの位置、プラグキャップやリコイルの形状等異なります。ご了承ください。

①プラグキャップを外し、付属のプラグレンチでプラグを取外し、先端を確認します。



付属のプラグレンチで反時計回りで取外します。振動等で緩まないよう少し固めに締め付けています。

先端が濡れている

先端は濡れていない

②燃料で濡れているため布等でよく拭きます。



③リコイルスターターロープを引いて（15～20回）、プラグ穴から燃料が出てこないか確認し、出てきたらよく拭き取ります。

②外したプラグをキャップに取付けます。



③スイッチをONにします。

④プラグ先端をエンジン金属部に当てながら、リコイルスターターを引きます。



火花が出る

火花が出ない

プラグに異常はありません。プラグ先端の濡れは燃料の行き過ぎで起こります。再度エンジンをかけ、確認ください。それでもかからない場合は、他の原因が考えられます。

エンジンオイル不足かプラグの不良か他の原因が考えられます。購入先にお問い合わせください。

消耗品・部品・オプション品一覧

商品名	商品コード	
タイミングベルト	580-159s-00-p019n	
走行ベルト	580-159s-00-p069n	
Vベルト	580-159s-00-p050n	
フランジ付ベアリング	580-159s-00-p039n	
駆動ワイヤ	580-159s-00-p109n	
走行ワイヤ	580-159s-00-p110n	
走行レバー	580-159s-00-p116n	
ダストバッグ	580-159s-00-p120n	
ダストバッグブラケット	580-159s-00-p117n	
ホースアッセンブリ	580-159s-00-p153n	
ホースブラケット	580-159s-00-p118n	
フロントホイール	580-159s-00-p040n	
リアホイール	580-159s-00-p076n	

消耗品・部品・オプション品一覧

商品名	商品コード	
伸縮操作パイプ	580-159s-00-p137n	
ノブナット	580-159s-00-p104n	
ガイドローラー	580-159s-00-p014n	
吸引下プレート	580-159s-00-p154n	
ローラーブラシ (オプション品)	580-159s-00-p151n	
サッチング刃 (オプション品)	580-159s-00-p152n	

使用することで消耗する部品または劣化する部品は全て保証適用外となります。

ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギア・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャープピン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等

★上記消耗品・部品をご注文の場合は、下記各サイトよりご注文ください。



本店サイト
<https://www.haigeshop.net/>



楽天サイト
<https://www.rakuten.ne.jp/gold/haige/>



ヤフーサイト
<https://shopping.geocities.jp/haige/>

※電話やFAXでのご注文は、誤発注・誤発送を回避するため、受付けておりません。
ご迷惑・ご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

本規約は、ハイガー(以下「弊社」とする)を経由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。弊社商品には商品保証書等は同梱しておりません。お客様の購入履歴や保証情報は弊社にて管理・保管しておりますのでご安心ください。返送いただく場合商品を再梱包していただく必要がございますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

1. 保証の期間

商品発送日(ご来店引取の場合ご来店日)から1年間といたします。業務用・営業用として使用される場合、保証期間は6ヵ月といたします。保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。商品発送日より7日以内の初期不良にあたる場合、送料・手数料弊社負担にて対応いたします。

2. 保証の適用

- ・お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。(以下、この無料修理を「保証修理」とする)往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
- ・保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。
- ・本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定ができない場合、保証が受けられない可能性があります。
- ・本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した時点で保証は無効となります。

3. 保証適用外の事項

- (1) 純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合
- (2) 保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合
- (3) 一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合
- (4) 取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合
- (5) 示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合
- (6) 弊社が認めていない改造をされたもの
- (7) 地震、台風、水害等の天災により生じたもの
- (8) 注意を怠った結果に起きたもの
- (9) 薬品、雨、雹、氷、石、塩分等による外から受ける要因によるもの
- (10) 使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象(退色、塗装割れ、傷、腐食、錆、樹脂部品の破損や劣化等)
 - (11) 機能上影響のない感覚的な現象(音、振動、オイルのにじみ等)
 - (12) 弊社または弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品
 - (13) 使用することで消耗する部品または劣化する部品(ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギヤ・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャーペン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等)
- (14) 保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等
- (15) 商品を使用できなかったことによる損失の補填(休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等)

4. 別扱いの保証

部品メーカーが個別に保証している部品については部品メーカーの保証が適用されます。

5. 保証修理の受け方

まずはお問い合わせフォームにて弊社へご連絡をください。
またはお近くの修理協力店へご連絡をしてください。
症状・使用状況を伺いし、お手続方法をご案内させていただきます。

6. 注意事項

- ・動作点検を行ってから出荷しておりますので、燃料やオイル、水分が残っていたり、多少の傷や汚れ等が付いている場合があります。
- ・部品の在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただくことがあります。
- ・仕様変更などにより同時交換部品が発生する可能性があります。
- ・仕様変更などによりアッセンブリーでの供給しかできない場合があります。
- ・生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。
- ・無在庫転売(送り先が毎回違う購入者)の場合、転売より購入した商品の場合、保証は無効となります。また発覚次第転売者への措置を取らせていただきます。

- アフターサービスについて■
1. 販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。
 2. 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。
 3. 保証期間(1年間)を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。
 4. 修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。
 5. 修理協力店へご依頼の際は、直接修理協力店に修理代をお支払いください。

お客様ご相談窓口

故障部品をお客様で交換される場合

まず、ご購入された店舗にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる往復の送料は全てお客様のご負担となります。

お客様

①故障の状況をメールでご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。

④送料お客様ご負担で、代替部品を発送致します。

ハイガーまたは販売・修理店

②受付
③故障内容の確認

故障部品をメーカーで修理する場合

弊社にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担となります。

お客様

①故障の状況をメールまたはお電話でご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。

②送料お客様ご負担で故障装置を発送してください。

ハイガー

③受付
④故障内容の確認
⑥お見積り了承
⑦故障装置の修理

⑤お見積り提示。

⑧送料お客様ご負担で、故障装置を発送いたします。

故障部品を販売・修理店で修理する場合

まず、ご購入された販売・修理店にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担となります。
遠方の場合の出張修理や引取り修理は、別途料金が発生致します。

お客様

①故障の状況をメールでご連絡ください。その際、持ち込み修理^{*1}か、引取り修理^{*2}か、出張修理^{*3}かを相談させていただきます。

⑤持ち込み修理の場合、修理完了後ご来店ください。引取り修理の場合は、修理完了後お届け致します。
※ご希望に応じて相談させていただきます。

販売・修理店

②受付 ③故障内容の確認 ④故障装置の修理
^{*1}お客様ご自身が販売・修理店に製品を持ち込むことをいいます。
^{*2}販売・修理店がお客様のご自宅まで製品を引き取りに行くことをいいます。
^{*3}販売・修理店がお客様のご自宅まで行き、その場で修理を行うことをいいます。

修理、部品に関するご相談

修理依頼される時は、下記を事項ご連絡ください。

- | | | |
|--------|------------|-------|
| ①ご注文番号 | ④故障の状況 | ⑦ご住所 |
| ②商品名 | ⑤購入サイト、年月日 | ⑧電話番号 |
| ③商品の型番 | ⑥お名前 | |

修理、使い方などのご連絡窓口

お手数ですが、今一度本取扱説明書を熟読し、弊社のサイトや動画等を見ていただき、問題が解決しない場合は、下記までお問い合わせください。

●お問い合わせ先：下記カスタマー・サポート・センター

販売・修理店

販売・修理店は随時増えています。販売・修理店により修理対応機械が異なりますので、最新情報は下記サイトをご覧ください。

本店サイト ▶ <https://www.haigeshop.net/html/page3.html>

楽天サイト ▶ <https://www.rakuten.ne.jp/gold/haige/support/repair/shop/>

ヤフーサイト ▶ <https://shopping.geocities.jp/haige/after.html>

※ハイガーは、顧客満足度100%を目指し、日々製品(部品やカラーも含め)の改良を行っています。

そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。

また、取扱説明書は、製品製造時の最新版を同梱していますが、内容は随時改訂していますので、最新版は以下のサイトよりご確認ください。

「製品のお困り事」は、カスタマー・サポート・センターへ。

「製品が利用できない」、「故障かな?」、「修理をしたい」、「パーツを購入したい」など、下記カスタマー・サポート・センターへ、お問い合わせください。

HAIGE

〒370-0603
群馬県邑楽郡邑楽町中野5298-1

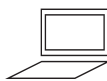
ハイガーオフィシャル 検索

<https://haige.jp/>



年中無休受付

※年末年始等除く



カスタマー・サポート・センターお問い合わせ窓口

<https://haige.jp/c/>

